

としょかん だより

2025.11 No.213

不動技研ながさき市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1
TEL 095-829-4946
FAX 095-829-4948
ホームページ
<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

ホームページ

公式LINE

電子図書館



Topic

■ 図書館アンケート実施中（～11/30まで）

運営の参考とさせていただきますので、
ご協力をお願いいたします。

（所用時間：2分程度）

紙のアンケートも配布しています。



↑回答はこちらから

Information

図書の展示

1階特集展示 映像の進化

特別展示 知っておきたい 税とくらしのお金（～11/17）

2階特集展示 作家たちと怪談（～11/29）

YA特集展示 こころのふしぎ

投稿展示 お気に入りの歌詞フレーズ

児童特集展示 秋いっぱいみつけた♪いろんな秋みつけた♪（～11/10）

特集展示 冬とあそぼう（11/12～）

ミニ展示 もっと知りたい！こころとからだ

特別展示 姉妹都市連携70周年記念イベント連動

「本で学ぼう！姉妹都市セントポール」



イベント

医療・健康講座

「お医者さんに聞く！腎臓病のハナシ」

日時：11月28日（金）13:30～15:30（13:00開場）

場所：多目的ホール

定員：70名（先着順）

受付：メールまたは2階カウンター

姉妹都市提携70周年記念イベント

「英語で遊んで学ぶアメリカの姉妹都市・
セントポール@ライブラリー」

日時：12月7日（日）14:00～15:00（13:30開場）

場所：多目的ホール

定員：30名（先着順）

対象：小学3年生～6年生

受付：メールまたはこどもとしょかんカウンター

寄贈紹介

第一生命児童文庫

第一生命労働組合長崎支部様は、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり・社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和63年度から毎年児童図書を寄贈されています。

38回目となる今年度も46冊（10万円相当）を寄贈されました。これまでにいただいた図書は4,766冊になります。



開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。
としょかんだよりの最新号・バックナンバーは図書館ホームページからもご覧いただけます。



BOOKS：整理整頓



散らかった部屋、まとまらない頭の中、複雑な人間関係……。悩んだ時のヒントに★



あーっとかたづけ

田中 達也/作
福音館書店
(日本絵本タ)

お決まりの「後片付け」とはちょっと違ったミニチュア作業員による「あーっとかたづけ」。
ぐちゃぐちゃになった勉強道具、脱ぎっぱなしの服、食べ終わったままの食卓が、ページをめくると「あーっと」驚くワクワクな世界に大変身！



腕が鳴る

桂 望実/著
祥伝社
F913.6カツ(日本現代)

片付けとは人生の棚卸し。片付けを通して、その人の過去と未来を再編成すること。
整理収納アドバイザーがさまざまなお客様に寄り添い、部屋も人生も整える片付け連作小説。

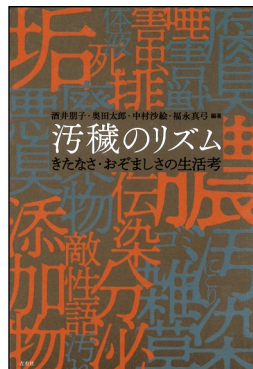


あの人にイライラするのは、部屋のせい。

東大卒「収納コンサルタント」が開発！心理学的片付けメソッド32

米田 まりな/著
PHP 研究所
K597.5コ(1階暮らし)

夫婦・親子喧嘩の原因は「モノ」にあり。整理収納アドバイザーが、お悩み毎に片付けの「仕組み」をイラスト付きでわかりやすく解説。家庭で起こる人間関係のモヤモヤを片付けメソッドで吹き飛ばす。



汚穢のリズム

きたなさ・おぞましさの生活考

酒井 朋子/編著 奥田 太郎/編著
中村 沙絵/編著 福永 真弓/編著
左右社
389オ(2階フロア)

清潔であることを追求する社会ほど、「汚れ」を生み出している？
害虫やゴミ、排せつ物など、私たちが避けたい「汚穢（おわい）」を人類学、倫理学、環境社会学など、多様な視点から論じたエッセイアンソロジー。
清潔の裏側にある排除、「汚れ」と避けられない「生」を見つめなおす。



「捨てる」思考法

結果を出す81の教え

出口 治明/著
毎日新聞出版
K159.4デ(1階暮らし)

簡単なようで難しい「捨てる技術」。
本書では、自分にとって不要な考え方・習慣を手放すことで、本当に必要なものを得ることができる」と提言。著者の経験を踏まえ、より良い結果を導き出すための「捨てる」思考法を伝授する。



おひとりさま最後の片づけ

やるべきこと・やらなくてもいいこと

杉之原 富士子/著
講談社
367.7ス(2階フロア)

子どもの自立、自身や配偶者の退職、親の介護など生活スタイルが変わる50代・60代は、気力も体力も残っており、家財やお金などの整理に最適、と著者は提案。
誰でも最後は「おひとりさま」。漠然とした不安を解消し、残りの人生を楽しみながら過ごすために、準備をはじめてみては。

